

【成長戦略研究】 県産主要鉢花における高温対策技術の確立(R3~R5)

総合農業技術センター

背景・目的

県産の主要鉢花 (生産額の割合)

その他

アッサムニオイザクラ

シクラメン

洋ラン (コチヨウラン・シンビジウム等)

地球温暖化

高温障害が発生

シクラメン	シンビジウム	アッサムニオイザクラ	ふじさんアジサイ※
生育遅延 花数減少	花飛び 開花遅延	落蕾 出荷遅延	花色緑化 色変わり遅延

※山梨県内で生産されたピラミッドアジサイを「ふじさんアジサイ」と称する。

◎そこで高温対策技術の開発を行い、県産鉢花の品質向上、および生産の維持拡大を目指す。

研究内容

事業費： 6,455 千円

品目 (担当)	内容	1年目	2年目	3年目
シクラメン (花き・応用育種科)	高温による障害部位の調査	○	○	
	多層遮熱技術の検討		○	○
	高遮光下における光環境改善		○	○
シンビジウム (ハヶ岳試験地)	花飛び・開花遅延の要因解析	○	○	
	高温期肥効調節技術の検討		○	○
	山上げ時の高温対策技術の検討		○	○
アッサムニオイザクラ (岳麓試験地)	高温期の落蕾要因の解明	○	○	
	施肥技術の改善		○	○
	用土の検討		○	○
ふじさんアジサイ (花き・応用育種科)	花色変化要因の解明	○	○	
	遮光技術の検討		○	○
	剪定技術の検討		○	○

経費： 2,232千円 2,120千円 2,103千円

期待される効果

- 高温障害の発生要因を解明
→ 有効な対策技術の確立
- 県産鉢花の品質向上
- 出荷遅延リスクの低減
- 花色変化調節
→ 県産鉢花の安定生産
→ 所得向上！